



みやこ

京まなびい Newsletter

京都市教育委員会事務局生涯学習部

必ず役立つ! 災害への備えを学ぼう!

災害への備えは万全ですか? 「やらないと…」と思いながらなかなかできていないという方、防災について学び、ご家族や隣近所の方々とともに、防災に強いまちづくりを進めていきましょう。やるなら今です!

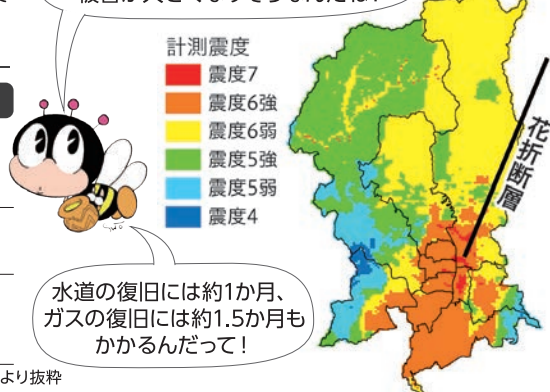
防災を知る・学ぶ

京都市では、令和5年3月に地震の被害想定を見直しました。市内で最も被害が大きくなると想定されたのが「花折断層地震」です。市街地の広範な地域で震度6強～7が想定されています。

被害想定 (最大値)		
花折断層地震		
全壊	10万棟	建物の被害
半壊	11万1000棟	
焼失	2万1000棟	人的被害
死者	4100人	
負傷者	5万3000人	ライフライン
断水人口	90万8000人	
停電	6万7000軒	
ガス停止	64万3000戸	

市民の63%が断水! 9割がガス停止! ※京都市第4次地震被害想定 (2023年3月) より抜粋

京都市では、「南海トラフ地震」よりも被害が大きくなりそうなんだね!



災害に備えるために必要なこと

- ①地域の危険性や避難場所などを知る
- ②どのくらい被害が出る想定かを知る
- ③家具の転倒・落下を防止する
- ④非常持ち出し品を用意する

調べてみよう! ~防災お役立ち情報~



京都市防災ポータルサイト



「マイ・タイムライン」



女性の視点の「KYOTOわたしの防災ノート」(ウィングス京都)

京都市防災ポータルサイト でハザードマップを確認!そして「マイ・タイムライン (我が家の防災行動計画)」を作ってみよう!

地域を守る! 防災のまちづくり

活躍中の京都市消防団員にインタビュー

入団のきっかけは?

長女の幼稚園時代のママ友に誘われ、入団しました。

活動内容を教えて!

毎月5・20日は「京都市無火災推進日」。拍子木を持ち「火の用心! (カンカン)」と夜回りをしています。また、災害時に備えて、担架等の取扱訓練や放水訓練を行っています。火災現場では、車や通行人の安全確保のため避難誘導をし、消防隊と協力して活動しています。夏の祇園祭では、車いすや担架で傷病者を安全に救急車で誘導します。

このほか、ウィングス京都発行の「KYOTOわたしの防災ノート」の作成にも協力しました。避難場所や連絡先を書き、ぜひ避難用リュックに!

いざというときの地域の絆

まずは自分と家族の身を守るために知識を身に付け、地震だけでなく、水害・土砂災害などあらゆる災害に備えることが大切です。そして、隣近所の方々と一緒に、地域の災害発生時の体制を日頃から確認しておきましょう!

中京消防団日彰分団 堀 多美恵さん

消防団員になってよかったことは?

消防団に入団して、地域の方々とコミュニティが広がりました。学区民運動会での防火啓発活動や、団員家族とのもちつき大会等を通して、親睦が深まり、訓練や火災現場活動では一致団結し、力強く活動しています。



右から堀さん、お孫さん、消防団員の娘さん

メッセージ

消防団は、活気があり、わきあいあいと楽しく活動しています。だれかのために、それは家族のためでもいいのです。地域、家族の安心、安全のために活動してみませんか?



LINE公式アカウント

消防団員になるには、こちらから!

京都市社会教育委員のコラム

まなびいの つぼ

地域活動を通して

京都市社会教育委員

とよだ

豊田 まゆみ氏 (一般社団法人 京都市地域女性連合会理事)



豊田 まゆみ氏
—プロフィール—

3人の子育てをしながら小学校教員を30年間務める。退職後、女性会活動へ。現在、(一社)京都市地域女性連合会理事、西京区地域女性連合会副会長、桧原地域女性会会長。「5人の孫たちから元気をもらっている毎日です。」

現役の時は、職場と家庭の往復で、地域の人たちと触れ合う機会もなく過ごしていました。退職後に、地元の地域女性会に誘われ、自治会主催の行事などに関わるようになりました。今まで受け身で参加していたことも、企画する側になって、いろいろな立場の人たちの協力で運営されていたことを改めて知ることになりました。

地域女性会の取組の一つに、学習活動があります。食品ロスやプラスチックごみなどの環境問題、介護、防災に関することなど「今、知りたい」と思っていることをテーマに講演会などを行ってきました。

去年は、「西京防災出前講座」を実施し、区内で予想される災害の具体例などの話を聞いた後、後半は保健師さんを交えて「安心安全な避難所」についてのワークショップを行いました。避難所は男性中心に設営されることが多いと聞きましたが、いろいろな立場の人たちの目線でトイレの場所を決めたり、小さい子どもや手助けが必要な人たちに細かく気配りができるような「ルール作り」が求められていると感じました。

災害対応で言われている「共助」は、日頃のご近所づきあいが基本です。女性会として、様々な取組を通して、温もりのある地域づくりに貢献できればと考えています。



地域女性会主催の講演会

メッセージ

温もりのある地域を目指して
豊田 まゆみ

市職員から直接聞ける! 防災出前講座も受付中!

(京都市政出前トーク)「マイ・タイムライン」の作り方や防災知識が身につきます。



詳細・申込はこちら↓



- ・テーマ13「消防・防災」をご覧ください。
- ・10人以上の参加で申込み ※条件有

問合せ先: 京都市総合企画局総合政策室
SDGs・市民協働推進担当
電話: 075-222-3178

実際に体験してみました!! 京都市市民防災センター

市民防災センターでは、防災知識や活動能力を高めるため、多彩な防災体験コーナーを設けています。



震度7の揺れを体験。立ってられないほどの大きな揺れで怖かったです。自宅で被災すると、家具は倒れ、足の踏み場もなくなるだろうと想像。普段から部屋を片づけ、棚などを固定しておきたいと思いました。

消火器(訓練用)を使用して消火を体験。万が一火事にあっても、自信をもって消火器を使うことができそうです。



子どもから大人まで、楽しみながら学ぶことができます。ぜひ、みなさんも行ってみてください。

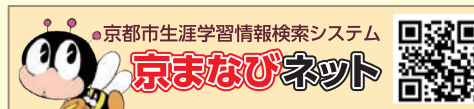
電話 075-662-1849 開館時間 9時~17時

休館日 月曜、第2火曜、年末年始ほか

アクセス 市バス「市民防災センター前」下車すぐ(16・19・42号系統) 近鉄「十条駅」下車、西へ徒歩8分



←詳しくはHPを確認



「京まなびいニュースレター」についての問合せ先

京都市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習推進担当
京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町549 (元生祥小学校)
TEL: 075-251-0410 FAX: 075-213-4650 メールアドレス: shogaigaku@edu.city.kyoto.jp

紙面への感想をメールやFAXでお寄せください。